



花壇づくりに精を出すボランティア

平成18年 No.171
9月1日号

今、ボランティア新時代

次の数字、あなたのご感想はいかがでしょうか。
「えっ、高齢化率そんなに高いの？」
「まあ、このくらい当然。しかし早いテンポだね。」

7月1日現在、松本市の人口228,408人
65歳以上は49,266人 (21.6%)
75歳以上は24,557人 (10.8%)

- ・シルバーボランティアの人びと… 2 P
- ・社会福祉大会アンケートから…… 3 P
- ・福祉センター夏まつり…………… 3 P
- ・あいちゃん…………… 3 P
- ・ふくしかわらばん…………… 4 P

元気な高齢者は積極的な社会参加が求められています。
そうです、今ボランティア新時代です。

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail: syakyoun@avis.ne.jp http://www.avis.ne.jp/~syakyoun/

ふれあいネットワーク
 **社協**

まつもと

私にもできる安心・安全な地域づくり

年齢を忘れてみんないきいき シルバー・ボランティアの人びと

人生80年から90年の時代となり、各地域では趣味を生かし仲間とともに楽しみながら、いきいきとボランティア活動を行うシルバー世代がおられます。

今回は、敬老の日を控え、前向きに活躍されているシルバー・ボランティアの活動を紹介いたします。



打ちたてのそばで交流

原町会の高齢者クラブでは、福祉部会や花いっぱい部、伝統工芸部等の七部会にわかつて、自分たちも樂しみながら、地域の人たちにも役立つことをしようと心を寄せ合っています。町会一ヵ所に作った花壇は道行く人にも喜ばれ、また、そば栽培をして秋の収穫祭にはそば粉と技術を提供して町会みんなで楽しみます。しめ縄作りや神社の灯篭作りでは、次世代の担い手養成にも心がけています。

一人暮らしの高齢者に配食をしたり、庭の草取りをしたりしながら、これからもお互いに励まし合つて高齢社会を乗り切ろうと意気込んでいます。

「好評の花壇づくり」 原高齢者クラブ

原町会の高齢者クラブでは、福祉部会や花いっぱい部、伝統工芸部等の七部会にわかつて、自分たちも樂しみながら、地域の人たちにも役立つことをしようと心を寄せ合っています。町会一ヵ所に作った花壇は道行く人にも喜ばれ、また、そば栽培をして秋の収穫祭にはそば粉と技術を提供して町会みんなで楽しみます。しめ縄作りや神社の灯篭作りでは、次世代の担い手養成にも心がけています。

一人暮らしの高齢者に配食をしたり、庭の草取りをしたりしながら、これからもお互いに励まし合つて高齢社会を乗り切ろうと意気込んでいます。

「好評の花壇づくり」 原高齢者クラブ



バス停や公共トイレを清掃

「安曇地区も楽しみながら」 シニアボランティアの会

安曇地区シニアボランティアの会は、六十代以上の会員で構成され、最高齢は八十七歳です。地区のお役に立てればと、バス停や公共トイレの清掃と装飾活動を行っています。

また、他町村のシニア世代のグループを訪問して交流をしたり、マレットゴルフで会員同士の親睦を図つたりと、ボランティア活動のリフレッシュや会員が集まるなどを楽しみにしながら会を運営しています。

活動が負担になりすぎず、できる範囲で地区のお役に立ちたいと考えています。「無理せず、楽しみながらが私たちのモットーです。」



小学生との交流風景

「小学生と楽しく交流」 カラスの会

鎌田地区では、高齢者のボランティアグループ「カラスの会」が、福祉ひろばを中心に、小学生活との交流を通じて親交を深めています。

「松本城で善意通訳」 ～元気に楽しく12年間～



得意の英語でガイドボランティア

松本城には毎日多数の外国人観光客が訪れます。私は、「アルブス善意通訳協会」に所属して、毎日仲間と楽しくボランティアとして活動しています。

退職後十二年間、好きな英語と歴史を生かして、国際交流のお役に立てるのを幸せに感じています。案内した外国人から感謝される度に嬉しくなり、生きがいさえ覚えます。おかげで海外にも友人ができ、今なお交友を続けています。

案内をした外国の方にどの程度、城とその文化について理解していただけたか、という問題になり、普段の見守り活動にもつながっています。

このように子どもとの交流を深めることでお互いに顔見知りになり、普段の見守り活動にもつながっています。

現役時代にできなかつた趣味を生かして人生を楽しむことができ最高だと思います。

(北上 常孝)

あいちゃん
作.上原ゆう子



総合社会福祉センター 夏まつりに1,000名



例年にない長い梅雨が明けた八月二日、「第八回総合社会福祉センター夏まつり」が開催されました。センターを利用する障害のある方や高齢者、ボランティア、福祉施設の関係者、近隣町会の住民など、約千名が来場し、人形劇や福祉施設の出店などを通して、夏の夜のひとときを楽しんでいました。

安心・安全な地域づくりをすすめよう

第47回 松本市社会福祉大会 アンケート結果

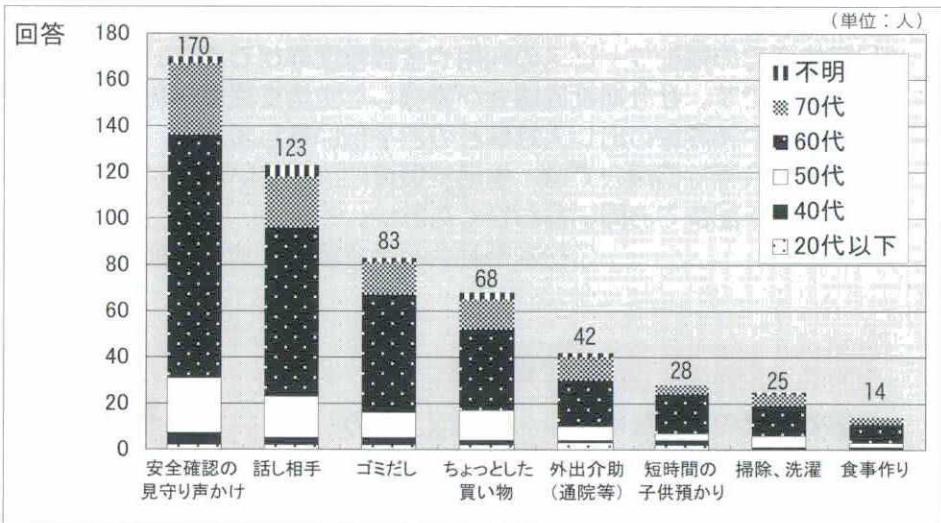
7月14日に第47回松本市社会福祉大会が開催され、地域の福祉現場で活動する3名の方の事例発表に、参加者800名は耳を傾け、今後の地域づくりについて考えました。

以下、参加者の感想と、当日協力いただいたアンケート結果を報告いたします。



[誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりをすすめる上で、できること・必要なことについてお聞きしました。(回答者189名。複数回答可)]

問1 あなたが、地域で高齢者や障害者、子育てなどで困っている世帯があつたら、その世帯に対してできることは何ですか



問2 あなたの地域の福祉をより充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか

(単位：人)

回答	隣近所の見守り・声かけ・助け合い活動の推進	町会福祉の推進	災害時の要援護者支援体制づくり	ボランティア意識の啓発
135	95	89	78	
児童と高齢者との交流する機会を増やすこと	障害者への理解・交流・支援の充実	健康づくりの推進	ボランティア活動・市民活動の推進	
63	60	47	41	

☆ 主な感想 (シンポジウムより)

- ・日頃の隣組の結束が大事。まず、隣組単位でそろって避難。いざという時、人間は何もできなくなるので日頃の心掛けが必要である。
- ・日頃の見守りや、災害時の要援護・支援体制づくりは、大変勉強になった。
- ・田川チャイルドに興味を持った。高齢者の健康教室に、子どもの母親を誘うことできり立つ事業だと気づいた。町会単位で発足させるのも一案で、すぐにできると思う。
- ・全ての事例が地域で今すぐ必要とされていることで、その気になればできそうな事を具体的に話してもらえた、大変参考になった。

ふくし・かわらばん

赤い羽根共同募金にご協力ください

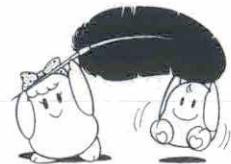
全国一斉10月1日～12月31日 今年度の目標額は 33,810,000円 です。

赤い羽根共同募金は、町会児童遊園地の整備・町会福祉活動への補助・福祉団体や施設への助成・社会福祉大会の開催・災害見舞金・広報誌「社協まつもと」の発行など、私たちのまちの福祉活動を進めるために使われます。

誰もが幸せに暮らしていくために、今年もみなさんのご協力をお願いします。

■受付窓口・問い合わせ

松本市双葉4-16 松本市社会福祉協議会内
長野県共同募金会松本市支会 (☎27-3381)



生活支援員を募集しています

地域福祉権利擁護事業は認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等で、判断能力が充分でないため日常生活での福祉サービスの利用や金銭管理等ができる方々が、安心して生活が送れるように支援する事業です。社会福祉協議会が委嘱した生活支援員が利用者のお宅を訪問して、福祉サービスの利用手続きや預貯金の出し入れなどのお手伝いをします。

松本市社会福祉協議会では、生活支援員になっていただける方を募集しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

○松本市社会福祉協議会 地域福祉課 (☎27-3381)



第21回高齢者の主張

高齢者福祉の向上をめざし、60歳以上ののみなさんからご意見やご提言を「高齢者の主張」として募集します。

なお、優秀作は11月30日に開催される松本市高齢者クラブ大会で発表いたします。

◆テーマ 自由課題(高齢者に関すること)

◆規定 400字詰め原稿用紙5枚以内

住所・氏名・年齢・電話番号を明記

◆提出期限 10月27日(金)

◆応募先 ☎390-0833 松本市双葉4-16

◆問い合わせ 松本市高齢者クラブ連合会

(☎27-3381)

理美容師のタマゴたち

カット&メイク ボランティアフェスタ

高齢者・障害者の方を対象に、生徒さんがカットやメイクを無料でおこないます。
モデルになっていただける方を募集します。

★日 時：10月16日(月)9時15分～11時30分

★内 容：カット・メイク・シャンプー
マッサージなど

★場 所：松本市理容美容専門学校
(松本市宮田11-7)

★募集人数：70名程度

★問い合わせ

松本市ボランティアセンター (☎25-7311)



松本市ボランティア情報誌

「こてまい」 編集ボランティアさん募集!!



☆取材して記事を書いてみたい方 ☆パソコンが得意な方 ☆絵を描くことが好きな方
☆写真を撮ることが好きな方 ☆文章を書くことが好きな方 ☆ボランティアに関心のある方 など
情報誌づくりに興味のある方、やってみたい方は、下記までお電話ください。

(松本市ボランティアセンター ☎25-7311)

「社協まつもと」はみなさんの共同募金の配分金で発行されています。